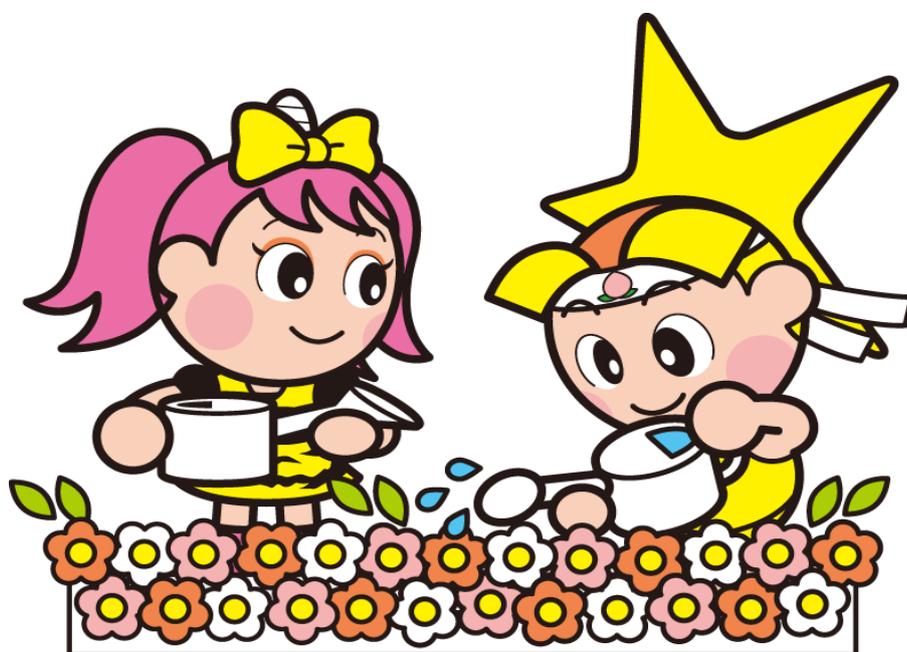


平成28年度 協働事業提案募集の概要



©岡山県「ももっち・うらっち」

平成29年3月
岡山県備中県民局

目 次

1	協働事業提案募集制度の概要	・・・ 1
2	平成28年度提案募集の経過	・・・ 1
3	平成28年度協働事業提案募集採択事業一覧	・・・ 3
4	協働事業提案募集採択事業の概要	
	No.1：「地域で、チームで、長い目で」学童保育を核に、発達障害があつても自分らしく暮らせる備中地域づくり事業	・・・ 4
	No.2：備中志塾～備中の伝統文化の継承と発展～	・・・ 10
	No.3：備中・矢掛まるごと博物館	・・・ 12
	No.4：高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発	・・・ 16
	No.5：「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	・・・ 20
	No.6：将来の土木技術者を育成するための「橋守」活動サポート事業	・・・ 24
	No.7：大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業	・・・ 26
	No.8：備中地域づくり実践講座の開催	・・・ 28
	No.9：新見哲西産シシ肉の6次産業化ネットワークによる普及事業	・・・ 30
	(参考) 平成28年度協働事業提案募集チラシ	・・・ 32
5	備中県民局協働事業審査委員会の概要	・・・ 36
6	協働研修等の実施状況	・・・ 38
7	平成22年度～平成27年度における協働事業提案募集採択事業の概要	・・・ 41

1 協働事業提案募集制度の概要

この制度は、多様化、複雑化する地域の課題やニーズ等に対して、行政が単独で対応することが困難になってきている中、特定非営利活動法人又はボランティア活動団体・市民活動団体等、社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（以下「NPO等」という。）から、その専門性、柔軟性等を活かした事業の提案を募集し、NPO等と岡山県備中県民局（以下「県民局」という。）が協働することで、地域課題の効果的・効率的な解決を図ることを目的とし、実施するものである。

2 平成28年度提案募集の経過

(1) 募集期間

平成27年12月18日（金）～平成28年1月29日（金）

(2) 応募事業数

23事業

(3) 第一次審査

備中県民局協働事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）が、応募のあった23事業について書類審査を実施した結果、第一次審査通過事業として12事業を選考した。

(4) 第二次審査

平成28年4月14日（木）、備中県民局会議棟にて、第一次審査を通過した12事業について団体によるプレゼンテーションを実施し、審査委員会による審査の結果、9事業が採択された。

(5) 採択事業事務説明会、協定書の締結、事業実施等

平成28年4月27日（水）、採択事業の団体担当者に対し、事務の流れ等を説明した。

その後、団体と県民局担当課との間で協議を行った上で協定を締結し、それぞれ事業に着手した。

(6) 中間報告

平成28年10月～11月、実施事業の進捗状況について、審査委員会委員に対し、地域づくり推進課担当者から個別に報告を行った。

(7) 事業結果報告

平成29年3月13日(月)、備中県民局会議棟において、採択された9事業を実施した団体が、事業結果についてプレゼンテーション形式で報告を行った。



©岡山県「ももっち・うらっち」

3 平成28年度協働事業提案募集採択事業一覧

事業名	団体名 (事務所所在地)	事業概要
「地域で、チームで、長い目で」学童保育を核に、発達障害があっても自分らしく暮らせる備中地域づくり事業	岡山県学童保育連絡協議会 (岡山市)	発達障害児・保護者支援のための学童保育を核とした様々な機関の協力関係をつくることを目的に、参加者が語り合うセッションやモデル事業、啓発冊子作成を行う。
備中志塾～備中の伝統文化の継承と発展～	一般社団法人 高梁川流域学校 (倉敷市)	備中地域の伝統文化等を継承、発展させるため、「備中志塾」の開催や講座内容のテキスト化・動画制作を行う。
備中・矢掛まるごと博物館	NPO法人 備中矢掛宿の街並みをよくする会 (矢掛町)	矢掛町及び備中地域全体を博物館と見立て、神社仏閣ツアーやシンポジウム、備中神楽公演、備中菓子博覧会を実施する。
高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発	一般社団法人 水辺のユニオン (倉敷市)	高梁川トレイルが風土ツーリズムとして完成するよう、ルートの開発・磨き上げ・マーケティング、オープンデータマップ制作とHP充実、ワークショップの開催、推進体制整備等を行う。
「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	龍の仕事展実行委員会 (倉敷市)	「龍の仕事展」を活用し、大学生が自己啓発力・自己教育力・地域戦略を身につけられる人材育成プログラムを開発する。
将来の土木技術者を育成するための「橋守」活動サポート事業	NPO法人 T E C . E C O再生機構 (倉敷市)	橋梁の点検・維持補修を行う技術者育成のため、高校生を対象とした現場見学会の実施等を行う。
大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業	輝け！江良元気会 (矢掛町)	大学留学生を地域で受け入れ、交流を通じた地域活性化を図るため、文化・生活の体験やホームステイ等による住民と留学生との交流を行う。
備中地域づくり実践講座の開催	備中田舎カレッジ連絡会議 (浅口市)	地域づくりの担い手を増やすため、地域づくりに携わりたい若手が実践事例等に学びながら、それぞれ「マイプラン」をつくりあげていく講座を実施する。
新見哲西産シシ肉の6次産業化ネットワークによる普及事業	一般社団法人 水辺のユニオン (倉敷市)	関係者がシシ肉の6次産業化に向けたネットワークを組み、シシ肉の理解促進と地域食材としての流通活性化を図るため、料理コンテスト実施や商品開発・マーケティング、イベント出展等を行う。

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 1

1 事業名 : 「地域で、チームで、長い目で」学童保育を核に、発達障害があっても自分らしく暮らせる備中地域づくり事業

2 実施団体名 : 岡山県学童保育連絡協議会

3 協働担当課 : 健康福祉部福祉振興課障害福祉・保護班

4 事業概要

学童保育（以下、「児童クラブ」という。）では多数の発達障害児を受け入れているが、専門家の支援や他機関との連携が少ないまま、各児童クラブの指導員が試行錯誤で奮闘しているという現状がある。このため、発達障害があっても安心して暮らせる地域づくりを目的として、乳幼児から青年期を通した長い目で、地域の関係機関のつながりを作れるよう、発達障害児を保育する学童保育を「作業療法士」が支援するモデル事業を行うとともに、児童クラブ、保育所、教育機関、就労支援事業所や企業等の関係機関に呼びかけてシンポジウムを実施し、雑誌への掲載、冊子の作成、SNSを用いた情報発信により、啓発を行う。

(1) フューチャーセッション（参加型意識共有スタートイベント）の開催

これまで、全く接点のなかった児童クラブ関係者と作業療法士の双方に本事業の実施を周知し、「連携することの有効性」を意識化し、今後の具体的な取組案を作成する。

(2) 作業療法士による指導員の指導

保育現場での発達障害児に対する支援方法を学ぶことを狙いに、倉敷市内を中心に選定した作業療法士15人が児童クラブへ継続的に訪問して、対象児や保育を観察後に指導員と意見交換することにより、支援技術の向上を図る。

あわせて、児童クラブに対して観察や意見交換の報告書を送ることで、児童クラブ内での情報共有を行う。

また、指導員が作業療法的な視点を理解するため、児童クラブの指導員を対象に、作業療法士を講師とする発達障害児支援講座を実施する。

(3) シンポジウムの開催

長い目で発達障害の子どもの支援を行うことを狙いに、学童保育関係者、保護者、企業関係者、専門家、市民を対象にシンポジウムを実施する。

5 事業の流れ等

(1) フューチャーセッションの開催

- ・期 日 平成28年6月5日（日）
- ・場 所 玉島市民交流センター
- ・講 師 就実大学経営学部 教授 林俊克
- ・内 容 「誰もが過ごしやすい地域」をテーマに、学童保育関係者、作業療法士、市民等がファシリテーターのもと、自由に発想を広げながら、学童保育と作業療法士が連携することで、発達障害児も過ごしやすい学童保育を目指すという共通目標を確認した。
- ・参加者数 62名

(2) 作業療法士による指導員の指導

ア 訪問指導（コンサル）

① 倉敷市二福のびのびクラブ

- ・内 容 同一作業療法士が2カ月毎に訪問して、継続した指導を行った。
- ・期 日 7月、9月、11月、2月

② その他のクラブ

- ・内 容 半日に2クラブを5人の作業療法士チームが訪問して観察した後、指導員とのミーティングを行い、後日、作業療法士チームが訪問した児童クラブへ観察結果やアドバイスをまとめた報告書を送付した。
- ・実施回数 7月2クラブ（倉敷）、8月4クラブ（倉敷）、12月1クラブ（倉敷）、1月4クラブ（倉敷2、高梁1、総社1）

イ 発達障害児支援講座

①第1回

- ・期 日 平成28年9月20日（火）
- ・場 所 総社市保健センター
- ・講 師 首都大学東京大学院人間健康科学研究科 教授 小林隆司
- ・テーマ 作業療法士の仕事全般、2015年「ニーズ調査」報告
- ・参加者数 91名

②第2回

- ・期 日 平成28年10月6日（木）
- ・場 所 総社市保健センター
- ・講 師 川崎リハビリテーション学院作業療法学科 副学科長 森川芳彦
- ・テーマ 感覚統合理論の視点から見た子どもの理解と対応
- ・参加者数 81名

③第3回

- ・期 日 平成28年9月20日（火）
- ・場 所 総社市保健センター
- ・講 師 倉敷成人病センター 河本聡志 氏
- ・テーマ 子どもたちの生活環境を理解する。
 - *子どもたち個々の特性を知る（発達障害児・定型発達児）
 - *子どもたちが行っている活動の特性を知る。
 - *目標設定をし、子ども達へのアプローチを学ぶ。
- ・参加者数 115名

(3) シンポジウムの開催

- ・期 日 平成28年12月18日（日）
- ・場 所 浅口市中央公民館
- ・講 師 青山商事株式会社井原商品センター 副センター長 細川孝志

○パネリスト

- 企業担当者：細川孝志 氏（青山商事株式会社）
- 作業療法士：河本聡志 氏（（一財）倉敷成人病センター）
- 保護者：杉岡裕佳 氏（倉敷市障害児学級親の会）
- 就労支援コンサルタント：宇野京子 氏（ハートスイッチ）
- 学童保育指導員：籠田桂子 氏（ながおキッズ）

○コーディネーター：小林隆司 氏（首都大学東京）

- ・内 容 「未来に向けて、学童保育の現場で意識しておきたいスキル」と題した企業の障害者雇用の取組の報告を聞き、ひとりの子どもの成長に応じた見通しを知り、保護者や学童保育指導員、企業、作業療法士等のそれぞれの立場から発達障害児の就労を見通した支援を考えた。
- ・参加者数 約200名

6 成果・効果

(1) 地域でのつながりが作れたこと（地域で）

- ① フューチャーセッションにより、学童保育を中心に「作業療法士が発達障害児の支援のプロ」であることを知ってもらい、作業療法士に学童保育について理解してもらうことができた。
- ② 作業療法士という専門家との連携をきっかけに、学校、保護者等との新しい連携が始まった。
- ③ 実際に関わりのあった保護者はもちろんのこと、SNSを通じて、発達障

害児の保護者や祖父母等から、この取組への多くの期待が寄せられた。

- ④ これまで、全くかわりのなかった岡山県作業療法士会と当団体が本事業を通じて、つながることができた。約1,100人の作業療法士会員のうち、発達障害領域は約30人しかいない中、20人を超える作業療法士の事業への参加があった。
- ⑤ この取組を第23回岡山県保健福祉学会で報告し、障害児支援の関係機関や行政関係者に、発達障害児の増加、学童保育関係者の奮闘と、発達領域の作業療法士のスキルについて知ってもらうことができた。
- ⑥ 保育園や学校とのさらに強いつながり作りの一歩を踏み出した。

(2) 学童保育での発達障害児支援スキルが向上したこと（チームで）

- ① 作業療法士という専門職が入ることで、これまで、指導員が経験的に蓄積してきた発達障害児の対応を言語化することができた。
- ② 「具体的な動きや行動に着目する」という作業療法士の手法により、指導員チームでの共通理解ができた。目標も立てやすく、指導員のキャリアの差があっても、チームで取り組みやすく指導員のチーム力が上がった。
- ③ 指導員個人もチームも自信がつき、学校教員や保護者との新しい連携も始まり、多職種による子ども支援の可能性が見えた。
- ④ 特に、2か月に1度の継続訪問を行った二福のびのびクラブでは継続した取組となり、定期的に子どもの様子や支援の成果の確認と修正ができ、指導員チーム力として子どもへの対応もスムーズになった。

(3) 「就労を見通す」という長い視点が持てたこと（長い目で）

「就労を考えるシンポジウム」を企画することで、初めて、学童保育の関係者として、企業関係者、就労支援コーディネーターに出会い、保護者の不安や悩みを聞くことができた。

7 今後の課題等

今後、「作業療法士による学童保育へのコンサル」を継続するためには、財政面の確立や制度化が必要である。そのためには、継続した良質の実践と数値的な効果を提示することが必要である。

また、学童保育へのコンサルを継続するためには、発達領域の作業療法士の絶対数が少ないことから、関係団体と協力しながら、並行して発達領域の作業療法士を育成することが急務である。

8 実施状況

	
<p>フューチャーセッション (学童保育と作業療法士の初の出会い)</p>	<p>作業療法士による指導員の指導 (子どもたちの様子を観察)</p>
	
<p>作業療法士による指導員の指導 (観察後の熱心なミーティング)</p>	<p>作業療法士による指導員向け講座 (総社市内)</p>
	
<p>就労を考えるシンポジウム (浅口市内)</p>	<p>啓発 (子育て雑誌やSNSで情報発信)</p>



©岡山県「ももっち・うらっち」

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 2

1 事業名 : 備中志塾～備中の伝統文化の継承と発展～

2 実施団体名 : 一般社団法人高梁川流域学校

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課市町村連携班

4 事業概要

備中人としての教養を身につけ「21世紀の備中人」として地域に資する人材を育成することを目的に、民俗学者の神崎宜武氏を講師に迎え、備中の歴史・地理・芸能・旅・食に係る全6回の対面講義を国指定重要文化財である大橋家住宅（倉敷市）で、定員25名の入塾制度を採り入れて実施した。

また、塾生以外からも広く参加者を募っての公開講座を頼久寺（高梁市）や総社宮（総社市）で実施したほか、高梁川流域のケーブルテレビやYouTubeでの配信を通じて講座の認知度を高め、幅広い世代に歴史的文化を継承する必要性を発信した。

5 事業の流れ等

(1) 対面講義

①開催日及び講義内容 ※（ ）は受講者数

8月30日(火) 古代吉備の風景－遺跡・神話・文化地理（38名）

9月28日(水) 中世の村落と三斎市－吉備高原の道をたどって（35名）

10月25日(火) 備中神楽「吉備津」－実演を通して能とも比較（37名）

11月29日(火) 近世の街道往来－参勤交代・伊勢神宮・芝居興行（35名）

12月20日(火) 年中行事と飲食－備中のまつりと節供を中心に（34名）

1月20日(金) 廿日正月の祝い膳（32名）

②開催時間

18:30～20:15（第6回のみ 18:30～23:00）

③会場

国指定重要文化財 大橋家住宅（倉敷市）

④費用

全6回講座9,000円（テキスト代・茶代込）

※学生5,000円。第6回は、料理代金5,000円が別途必要。

※全6回の受講で修了証と高梁川流域学校パスポートが授与され、備中志塾及び高梁川流域学校が主催する講座やプログラム等に優先的に参加できるほか、企画運営に参加することができる。

※単独参加は1,500円／1回

- (2) 備中学のすすめ「備中人としての教養とは」 ※ () は受講者数
 9月27日(火) 18:30~20:15 頼久寺・高梁市 (29名)
 10月24日(月) 18:30~20:15 総社宮・総社市 (44名)

6 成果・効果

- ・ケーブルテレビを通じて講義を配信することにより、伝統文化の成り立ちやその価値についての知識が共有され、地域コミュニティの再構築や地域愛の醸成が図られた。
- ・入塾制度を採り入れることによって、地域に必要とされる志を持った人材を育成することができた。
- ・SNS等を使った世界に向けての発信が可能となり、国際的な関心を集めて地域へのインバウンド観光客を呼び込むことで地域経済への貢献も実現できる。

7 今後の課題等

- ・参加者が単に講座へ参加して知識を身につけるにとどまらず、更に伝統文化の継承を促すため、卒塾生のネットワーク構築や新たなアクションへ繋がる仕掛けが必要とされる。
- ・事業の広がりに合わせて増大する事務作業に対応できるスタッフが必要となることから、例えば大学との連携や卒塾生が運営面に携わるなど、人員確保に向けた検討が必要である。

8 実施状況

	
<p>対面講義 (大橋家住宅)</p>	<p>対面講義 (大橋家住宅)</p>
	
<p>備中学のすすめ</p>	<p>備中学のすすめ</p>

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 3

- 1 事業名 : 備中・矢掛まるごと博物館
- 2 実施団体名 : NPO法人 備中矢掛宿の街並みをよくする会
- 3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課市町村連携班

4 事業概要

備中矢掛地域には先人から受け継いだ豊富な歴史遺産や文化遺産があり、これらを現代の視点から新たに見直し、地域全体を「まるごと博物館」としてとらえ、この地域を理解し、この遺産を後世へと引き継いでいくため、地域遺産を巡るツアー、伝統芸能（備中神楽）上演、シンポジウム（戦国時代の山城がテーマ）の開催等、各種事業を実施する。

5 事業の流れ等

(1) 備中矢掛まるごとツアー

地域遺産である神社仏閣等（大通寺、吉備真備公園）を巡る

- ①桃太郎伝説をディープに巡るツアー 平成28年10月2日（中止）
- ②矢掛・猿掛城歴史散歩 平成29年1月28日（約120名参加）
- ③神社仏閣ツアー 御敵退散 平成29年2月5日（13名参加）

(2) 備中神楽堪能会

- ①開催日 平成28年12月11日（延べ約250名参加）
- ②場所 矢掛町農村環境改善センター
- ③概要 伝統芸能である備中神楽を8時間にわたり上演

(3) 備中戦国・山城シンポジウム

- ①開催日 平成29年1月29日（約170名参加）
- ②場所 矢掛町農村環境改善センター
- ③概要 歴史研究家や県文化財センター職員等による基調講演及びパネルディスカッション

(4) 備中お菓子の大博覧会

- ①開催日 平成29年3月5日（延べ約200名参加）
- ②場所 やかげまちかどギャラリー、地域の各店舗
- ③概要 矢掛内の9つの菓子店舗を巡るスタンプラリー

6 成果・効果

- ・開催行事が複数回新聞等に取り上げられるなど、地域住民にとって普段気付かない地元の歴史的遺産の認知度向上、地域の伝統文化の発信につながった。
- ・参加者数は行事によってばらつきがあるが、近隣地域から人が集まることにより地域活性化や観光振興が図られた。
- ・2カ年にわたる実施の結果、一部の事業については、今後も継続的に実施できる見通しが立った。

7 今後の課題等

- ・継続可能とされた事業の収支均衡に向けた財源確保の取組。
- ・団体としても人手が十分でなく、より円滑に事業を実施するため、事業運営に見合った組織体制の充実が必要。

8 実施状況



猿掛城・歴史散歩



神社仏閣ツアー 御敵退散



備中神楽堪能会



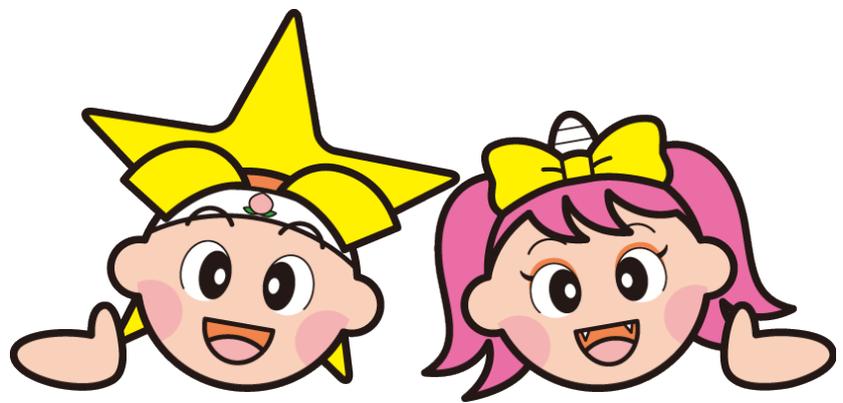
備中神楽堪能会



備中戦国山城シンポジウム



備中お菓子の大博覧会



©岡山県「ももっち・うらっち」

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 4

1 事業名 : 高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発

2 実施団体名 : 一般社団法人水辺のユニオン

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課振興班

4 事業概要

高梁川トレイルが風土ツーリズムとして完成するよう、ルートの開発・磨き上げ・マーケティング、オープンデータマップ制作、推進体制整備等を行う。

5 事業の流れ等

(1) 高梁川トレイル実施プログラムの磨き上げ

平成27年度に開発した3コースについて、子どもからシニア層まで幅広い世代が参加できるようプログラムを磨き上げ、モニターツアー8回(うち親子トレイル3回、キッズキャンプ1回)を実施し、75名の参加があった。

参加者アンケートによりマーケティング分析を行い、高梁川流域の着地型観光ルートとして商品化の可能性を探った。

① 備中松山城と臥牛山コース(約14km)

実施日: 9月24~25日、10月16日、11月13日(計3回、26人)

② 吹屋往来(成羽~吹屋)&とと道コース(約15km)

実施日: 10月8日、10月23日、11月12日(計3回、33人)

③ 倉敷川とともに歴史文化を辿るコース(約15km)

実施日: 10月30日、12月4日(計2回、16人)

※①と③のコースで親子トレイルを設定して実施。

(2) トレイルルートの環境整備

各トレイルルートの下見調査で危険箇所等を確認し、案内板の設置や倒木の除去など、地元組織等と連携してルートの環境整備を行った。

(3) 新規トレイルルート調査

地元知見者等の情報を収集し、新たに3ルートについてトレイルプログラムとしての可能性を検討した。

① 笠岡金浦~矢掛町~美星町三山

② 岡山県立大学~砂防公園~鬼ノ山~血吸川~足守

③ 吹屋~坂本~花木~鯉が窪湿原~新見哲西

(4) 高梁川トレイルの情報発信

リーフレットやホームページのトレイルマップを充実させ、汎用性があり、継続的に利用できる広報媒体として制作した。

(5) ワークショップの開催

① 第1回高梁川トレイル推進協議会（仮称）設立準備会

日時：平成28年7月3日（日）10:00～12:00

場所：成羽文化センター

② シンポジウム「歩くことではじめてわかること」

日時：平成28年10月29日（土）13:00～16:00

場所：吉備国際大学 国際交流会館

参加者：20名

③ 熊野神社（福岡神社）～JR木見駅ルートでのワークショップ

日時：平成28年12月21日（水）

場所：熊野神社

(6) プロダクト制作

バンダナとバッジ等をプロモーション資材として制作し、トレイル参加者やイベントで配布した。

6 成果・効果

- ・モニターツアーでは、参加者が長時間一緒に歩き、協力して目標を達成することにより連帯感ができ、満足度も非常に高くなることがわかった。
- ・トレイルに関わる各団体が協力してルートをつなぐ合意が得られた。また、協議会組織設立の必要性が検討できた。

7 今後の課題等

- ・トレイル実施のためのルート整備に労力と時間、費用がかかるため、地域組織等と連携した環境整備の仕組みを検討する必要がある。
- ・推進協議会を設立し、着地型観光ルートとしてトレイルの商品化を検討する。
- ・子ども向けトレイルは、楽しませる仕掛けの工夫や小中学校への情報発信、授業でのアウトリーチを検討する。

8 実施状況

	
<p>モニターツアー (備中松山城と臥牛山コース)</p>	<p>モニターツアー (吹屋往来&とと道コース)</p>
	
<p>モニターツアー (倉敷川とともに 歴史文化を辿るコース)</p>	<p>シンポジウム (10月29日、吉備国際大学)</p>
	
<p>推進協議会設立準備会 (7月3日、成羽文化センター)</p>	<p>プロモーション資材の制作 (リーフレット、バンダナ、缶バッジ)</p>



©岡山県「ももっち・うらっち」

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 5

1 事業名 : 「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発

2 実施団体名 : 龍の仕事展実行委員会

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課振興班

4 事業概要

高梁川に育まれた「ものづくり企業」、自社の企業文化の紹介や個性的な商品の販売を行う「龍の仕事展」を活用し、大学生が自己啓発力・自己教育力等を身につけることのできる人材育成プログラムを産－官－学の連携で開発する。

5 事業の流れ等

(1) 参加学生

ア 参加学生の所属大学 (6 大学)

岡山県立大、倉敷芸術科学大、吉備国際大、くらしき作陽大、川崎医療福祉大、作陽音楽短期大

イ 実行委員会へ新たに参加した大学 (1 大学)

岡山商科大学 → 実行委員会 12 大学

(2) 事前研修 (会場 : 備中県民局 6/26・倉敷天文館彰邦館 7/3)

今年度は、学生の早期募集により、事前研修を昨年度4回から2回に省力化した。

龍の仕事展・D－INTERNSHIPの目的やルールの共有、ケーススタディ等を行った。研修は補講含め計2回実施し、36名が受講した。

(3) 企業交流会 (会場 : 倉敷商工会議所3階 第5会議室 7/13)

企業と学生が出展目的等について共有を図るため、交流会を開催し、企業は8社12名、学生は11名参加した。それに先立ち、学生がエントリーシートに記入した希望企業と事前研修の評価により担当する企業のマッチングを実施した。

(4) 企業研修

7月13日～9月10日の間に計34名の学生が会社訪問や工場見学等を行い、企業が考える龍の仕事展での目的・目標・課題を踏まえて、学生が展示方法等について提案を行った。

(5) 直前研修（会場：備中県民局 8/28・倉敷天文台彰邦館 9/4）

企業研修で行ったことの発表や龍の仕事展までの行動計画の策定などを行った。直前研修では、補講を含め34名参加した。

(6) 「龍の仕事展2016」会場での接客・販売等の研修を受講

（会場：倉敷アイビースクエア内アイビー学館 9/17～9/25）

龍の仕事展中、朝・夕のミーティングを開き、朝、皆の前でその日の課題と目標を発表し、夕方、それに対し取り組んだ成果報告を毎日行い、反省と課題解決の方法を皆で考えるPDCAサイクルを回すプログラムを実施した。

(7) 成果発表会（会場：備中県民局 10/2・倉敷天文台彰邦館 10/16）

事前研修から龍の仕事展までの一連の活動を振り返り、これからの大学での学業や自分の人生にどのように生かすかについて発表する事後研修を実施した。

成果発表会では補講を含め、計33名が受講した。

(8) 最終成果発表（会場：備中県民局 12/4）

学生代表8名がD-INTERNSHIPから得た自身の変化や学びを振り返り、これからの学業や人生にどのように生かすかを考え、一般の方へ発表する最終成果発表を行った。それに伴い、プレゼンテーション等で伝わる伝え方のスキルアップを行う事後研修を11月7日～12月1日までに計4回行った。

6 成果・効果

学生アンケートについて、本プログラムが自分のキャリア設計に「とても役立つ」（他の選択肢として、「やや役立つ」「あまり役立たない」「全く役立たない」と答えた学生が過半数を超えており、人材育成プログラムとして大きな成果を残したと言える。

なお、龍の仕事展について、今年は天候に恵まれず来訪者数は過去2番目の12,804名（前年度比87.7%）、会場売り上げも過去2番目の2,993,755円（前年度比81.4%）となった。

7 今後の課題等

①募集の段階

(ア)会場運営スタッフの設置

会場全体での設営、美化、集客、連携などの弱さを補うために専属の学生スタッフを設ける。企業担当から独立した、全体の運営に携わるスタッフを新たに募集する。

(イ) 龍の仕事展前日と翌日への参加

「龍の仕事展」前日の搬入の学生参加を必須とし、「龍の仕事展」終了翌日の片付けにも参加を求める。

②事前研修の充実

本来の企業展の趣旨がぼやけている様子を鑑み、事前研修の中に「龍の仕事展の意義」や「企業文化」、「地方ブランド戦略」について学ぶ時間をとる。

③中間研修の実施

企業へのアプローチが遅れ、企業研修が円滑に行えていない学生が目立ったため、中間研修を設け、企業研修の進捗状況を早めにチェックし、フォローする体制を確立する。

④大学との連携

持続可能な事業への取り組みを目指して、当該事業が大学での授業になるよう大学との連携を図っていく。

8 実施状況



事前研修



企業研修



企業研修



直前研修



龍の仕事展：ミーティング



最終成果発表

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 6

- 1 事業名 : 将来の土木技術者を育成するための「橋守」活動サポート事業
- 2 実施団体名 : 特定非営利活動法人 TEC. ECO 再生機構
- 3 協働担当課 : 建設部建設企画課

4 事業概要

建設産業は人々の生活や経済活動の基盤である道路・河川などの社会資本の整備を担う重要な産業であるが、若手入職者の減少や就労者の高齢化が進んでいる。「橋守」活動を通じて、身近な社会インフラの一つである橋梁の補修に対する関心を高め、将来の土木技術者の育成につなげるものである。

5 事業の流れ等

(1) 「橋守」補修現場見学会の開催

開催日時 : 平成29年1月12日 (木)

講習会場 : 備中県民局第二庁舎会議室

講習内容 : 岡山県の土木行政の概要

岡山県の土木職員の魅力等

見学場所 : 川辺橋歩道橋 (橋梁補修工事施工中の現場)

参加者 : 笠岡工業高校環境土木課1年生 (40名)

(2) 【若手技術者のための簡易橋梁点検マニュアル 入門編】の作成

岡山大学環境理工学部 西山哲教授指導によるマニュアルの作成

(3) 橋守等の活動を発信するブログの整備

<http://tececo.hateblo.jp/>

6 成果・効果

本事業で、将来の建設産業を担う笠岡工業高校環境土木科の生徒に、橋梁補修工事の現場を間近に見てもらうことで、県の土木行政の役割を周知し、社会インフラ整備に関心を抱いてもらうとともに建設産業のイメージアップができた。

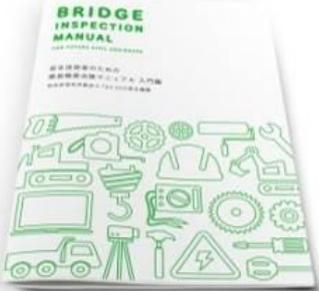
また、橋守のマニュアルを作成し配布することで、橋守活動について知ってもらい、土木の仕事を身近に感じてもらうきっかけづくりとなった。

さらに、将来の進路選択時に、行政もあることを意識付けることができた。

7 今後の課題等

今回製作した簡易橋梁点検マニュアル入門編を、笠岡工業高校だけでなく、他の工業系高校へもあらゆる機会を捉え配布するとともに、地域を支える重要な役割を担う将来の土木技術者を育成するために現場見学会の受入を継続的に実施すべきである。

8 実施状況

	
<p>現場見学会（講習）</p>	<p>現場見学会（講習）</p>
	
<p>現場見学会（川辺橋歩道橋）</p>	<p>床版打音確認体験</p>
	
<p>橋守等の活動を発信するブログ整備</p>	<p>簡易橋梁点検マニュアル 入門編</p>

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 7

1 事業名 : 大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業

2 実施団体名 : 輝け！江良元気会

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課振興班

4 事業概要

本事業は、大学留学生との交流をとおし、「地域のひと・もの・こと」を活用し地区住民の総意と工夫で地域の活性化事業を行う。

5 事業の流れ等

6月25日	田植え（参加留学生6名）
7月10日	中川小学校との交流（参加留学生7名）
8月13日	イングリッシュ・デイキャンプ（外国人講師1名）
10月9日	神輿担ぎ（参加留学生15名）
11月12～13日	ホームステイ（参加留学生7名）
11月20日	ウェルカムパーティ（参加留学生45名）
1月7～8日	ホームステイ（参加留学生9名）
2月12日	反省会

6 成果・効果

(1) 地域の成果

- ・交流準備や事業をとおして、地域の老若男女が互いに話しやすくなり、住民の絆が一層深まった。
- ・外国語の話せない子供や高齢者でも留学生に気楽に話しかけられるようになっている。
- ・地域外の人から、交流について褒められたり、羨ましがられたりして、自分の地域を誇れるようになっている。

(2) 子供たちに与えた成果

- ・仲良くなった留学生の国のことを調べたり、帰国した留学生へ電話したり、将来自分も留学したいなど、外国に興味を持つ子供たちが増えている。
- ・留学生歓迎の式では、小学生自身が英語で歓迎の挨拶を考えて、披露するなど、地区住民を驚かせている。

(3) 町や周辺地域に与えた成果

- ・行事に地区外の方が徐々に多く参加するようになった。また、ホームステイ引き受け家庭の申し込みが地区外の方も増えつつある。
- ・矢掛町と岡山大学との交流が盛んになり、町の観光誘致に寄与している。

7 今後の課題等

- ・より多くの方が交流に参加するための方策の検討。
- ・参加した地域住民全員が、留学生と交流できる仕組みの構築。
- ・各イベントのスムーズな進行方法の構築。
- ・大学と留学生双方の意見を取り入れた参加型イベントの検討。

8 実施状況

	
<p>田植え 留学生と子供たちが一緒に行く</p>	<p>田植え 留学生に話しかける子供たち</p>
	
<p>イングリッシュ・デイキャンプ 外国人講師が子供に話しかける</p>	<p>神輿担ぎ 留学生と地域住民で神輿を担ぐ</p>
	
<p>神輿担ぎ 留学生と地域住民の交流</p>	<p>昨年度から設置されている看板</p>

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 8

1 事業名 : 備中地域づくり実践講座の開催

2 実施団体名 : 備中田舎カレッジ連絡会議

3 協働担当課 : 地域政策部地域づくり推進課振興班

4 事業概要

高梁・新見の両市で、地域づくりの担い手を増やし、裾野を広げるための「地域づくり実践講座」を開催する。

5 事業の流れ等

7月15日 プレセミナー開催（新見市）

参加者：10名

8月26日 第1回講座開催（場所：高梁市成羽町吹屋）

参加者：10名（うち塾生2名）

9月23日 第2回講座開催（場所：新見市哲多町花木）

参加者：13名（うち塾生3名）

10月28日 第3回講座開催（場所：高梁市松原町春木）

参加者：6名（うち塾生1名）

11月25日 第4回講座開催（場所：新見市大佐田治部）

参加者：7名（うち塾生1名）

12月16日 第5回講座開催（場所：井原市芳井町下嶋）

参加者：3名（うち塾生1名）

1月20日 最終プレゼン（場所：岡山市中区西川原）

参加者：塾生1名

3月1日 最終相談会（場所：高梁市内山下）

参加者：8名（うち塾生2名）

6 成果・効果

- ・少人数であったため、塾生の多様な要求に柔軟に対応できた。
- ・昨年度の卒塾生が、運営に主体的に参画し、カレッジの手法を習得できた。
- ・塾生や関係者の間で一体感が高まり、さらに人間関係が広まった。

7 今後の課題等

- ・ 卒塾生のつながりを継続させ、それぞれの活動が全体として地域を活性化するように支援する必要がある。
- ・ 開催に当たって、安定した塾生数を確保することが必要である。

8 実施状況

	
新見市 プレセミナー	新見市 第2回講座
	
高梁市 第3回講座	新見市 第4回講座
	
最終プレゼン	最終相談会

平成28年度協働事業提案募集採択事業の概要 No. 9

1 事業名：新見哲西産シシ肉の6次産業化ネットワークによる普及事業

2 実施団体名：一般社団法人水辺のユニオン

3 協働担当課：農林水産事業部農畜産物生産課農産班

4 事業概要

野生鳥獣による農林水産被害金額は、平成27年では県内3億円3千万円（管内1億1千万円）にのぼり、特に備中県民局管内ではイノシシによる被害が最も多い。

このような状況の中、一般社団法人水辺のユニオン（事業主体）が、ジビエ料理コンテストやハンターガールによるセミナー等を開催し、管内で捕獲したイノシシの食品（ジビエ）としての利用推進を図った。

5 事業の流れ等

(1) シシ肉のジビエ料理コンテストの開催

- ・10月1日～30日の1ヶ月間、高梁川流域等の飲食店（11店舗）で新見市哲西産シシ肉を使用したジビエ料理を提供するジビエ料理コンテストを実施した。
- ・料理コンテスト開催に合わせて、PRチラシやポスターを作成するとともに、専用HPやyoutube、facebookなどソーシャルメディアを用いた情報発信も行った。

(2) シシ肉を使用した商品開発とその試作品によるマーケティング調査

- ・7月20日に実施されたトマトアグリフェアにシシ肉の加工品（コン猪）を出品し、バイヤーや専門家の方々など約100名の方に試食いただき、マーケティング調査を実施した。

(3) ジビエ料理研究家兼猟師（ハンターガール）井口和泉氏によるセミナー開催

- ・10月1日（土）17時から倉敷市酒津の旧原田邸において、ジビエ料理研究家兼猟師（ハンターガール）である井口和泉氏を招き、狩猟・ジビエ料理についての講演会「ジビエの魅力を伝える」及び新見市の猟師の長尾一三氏とのトークセミナーを実施した。

6 成果・効果

- ・ジビエ料理コンテストのジビエ料理を食べた方からは「シシ肉のイメージが変

わった」「シシ肉は匂いがあると思っていたが（臭み等）全然無く、おいしかった」等の意見が寄せられ、このコンテストを通じて「シシ肉ジビエ」の魅力を地域に対して大きく発信することができた。

- ・マーケティング調査の結果、シシ肉の加工品（コン猪）の評価は概ね高く、当日開催された商品コンテストでは3位にエントリーされ、シシ肉のイメージを一新できる商品である感触を得た。一方、パッケージについては、「女性向きでない」との評価もあったため、検討を要することとした。さらに、シシ肉のキーマカレーやシシ肉の丼についても試作を行った。
- ・ハンターガール井口和泉氏によるセミナーの参加者からは、猟師の長尾氏の解体技術やハンターガール井口氏の料理を高く評価する発言が多くあった。また、この模様は、倉敷CATVが撮影し、後日繰り返し放送することで、広く地域にシシ肉ジビエの魅力を発信することができた。

7 今後の課題等

安全、安心面には、最大限注意を払いながら、捕獲されたイノシシ等については、地域資源として有効活用し、ジビエの普及等を通じて、鳥獣被害対策の推進や地域の活性化を図る。

8 実施状況

	
井口和泉氏によるセミナー	ジビエ料理コンテスト実施店舗

岡山県備中県民局

協働事業提案募集

皆さんの力が
必要です！

岡山県備中県民局では、地域の諸課題を解決し、個性豊かで活力ある「生き生きおかやま」を実現するため、NPO、市民活動団体、町内会、ボランティア団体など多様な主体との協働の取組として、『協働事業提案募集』を実施します。

皆さんの自由な発想と情熱で、『備中の地域づくり』に参加しませんか？



募集テーマ



詳しくは次ページを見てね！

◎指定テーマ

備中県民局管内の様々な諸課題や、今後取り組むべき事柄について、7つの具体的なテーマを設定しています。この中から選択したテーマに沿って、事業を提案してください。

◎自由テーマ

指定テーマに該当しないものであっても、協働のテーマとしてふさわしく、かつ必要・効果的と認められるものであれば、自由テーマとして事業を提案してください。

応募方法等

所定の応募用紙に必要事項を記入し、必要書類を添付のうえ、郵送、持参、FAX、Eメールのいずれかの方法により右記提出先まで提出してください。

応募様式及び詳細な内容は、「平成28年度岡山県備中県民局協働事業提案募集要項」に掲載しています。応募される場合は、必ずこちらもお読みください。

要項・様式は、右記問い合わせ先及び備中県民局管内各地域事務所地域総務課で配布するほか、備中県民局ホームページからもダウンロードできます。

募集期間

平成27年 12月18日(金) ~
平成28年 1月29日(金)
(最終日消印有効)

提出・お問い合わせ先

〒710-8530 倉敷市羽島1083
岡山県備中県民局 地域づくり推進課 市町村連携班
TEL : 086-434-7004(直通)
FAX : 086-426-9305

指 定 テ ー マ

指定テーマは以下に掲げる7項目です。このテーマに沿って事業提案をお願いします。

なお、指定テーマ以外であっても、協働のテーマとしてふさわしく、かつ必要・効果的と認められるものであれば、自由テーマとして事業をご提案ください。

※本事業は平成28年度に実施するものであることから、岡山県議会において、平成28年度当初予算のうち関係予算が成立することが条件となります。



©岡山県「ももっち・うらっち」

① 子どもと若者が健やかに育つ社会づくりの推進

備中県民局管内の各地域の現状と課題を踏まえ、子どもと若者が健やかに育つ社会づくりを推進するために効果的な事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・子どもや若者が触れ合う居場所づくりの企画・運営
- ・地域で子どもが参加するボランティア活動や社会貢献活動の企画・運営
- ・子どもや若者が事故や犯罪に巻き込まれないための取組の企画・運営
- ・発達障害の不安や悩みを持つ人やその家族が相談できる場等を提供する取組の企画・運営

② 備中の地域・伝統文化の発信

備中地域の個性ある文化や地域に多く残る伝統的町並みをクローズアップし、広く情報発信を行うことにより、地域の文化振興を図る事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・備中地域の個性ある産業、歴史、伝統、食など地域の特色を踏まえ、内外に情報発信することができるシンポジウム等の企画・運営
- ・特定地域を対象とするのではなく、備中の広域的エリアを舞台とすることにより、「文化で備中を結ぶ」ことが期待される取組
- ・備中地域の各地を巡る、伝統的文化やアートを体験するプログラムを一定期間実施することにより、文化に親しむ「きっかけ」をつくる取組

③ 産業・観光の振興

備中地域の「強みを活かした産業競争力の強化」や「雇用の確保」等、産業の振興に効果的な事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・就職促進のため、就職に必要な知識、技能を習得させるための研修や、受講者の適性とニーズに即した訓練等の企画・運営
- ・着地型観光や産業観光のスポットやルートの開発及びそれらを定着させるための事業の企画・運営
- ・地域資源を活用した特産品づくりや地域の産業振興につながるセミナーの開催

④ 体験型環境学習事業の実施

大気・水環境・地球温暖化等の問題に対し、森林との関係や里山・里海が果たす役割、ライフスタイルの見直しの必要性等、環境保全意識の高揚や環境改善への取組の推進につなげるための、小学生等を対象にした体験型環境学習の企画・運営

【例えば・・・】

- ・ 汚水処理場や自然エネルギー関連施設(メガソーラー、バイオマス等)、エコ住宅等の施設見学事業の企画・運営
- ・ 河川の源流地域の森林や里山、里海をフィールドとして自然体験学習ができるエコツアー事業の企画・運営
- ・ ソーラークッカーや自転車発電などの機材を使った省エネルギー体験事業の企画・運営
- ・ 地球温暖化や気象に関する実験、星空観察等の事業の企画・運営

⑤ 私たちの暮らしと土木

安全で安心な生活を送ることに不可欠な土木施設(道路、河川、海岸、港湾、公園等)について、魅力や重要性を周知し、理解を深めるための事業の企画・運営

【例えば・・・】

- ・ 防災意識の向上や土木施設の重要性を再認識するイベントの開催
- ・ 歴史的土木遺産等の見学会の企画・運営
- ・ 学生を対象とした建設現場見学会等の開催
- ・ 子どもを対象とした身近な建設機械とのふれあいイベントの開催

⑥ 中山間地域・離島の活性化の推進

企業や教育機関、NPO等と中山間地域・離島が連携した地域活性化のための企画・運営や、地域の農業者の活動に加え、地域内外の多様な人々の支援を活用した耕作放棄地の解消等

【例えば・・・】

- ・ 都市部から中山間地域・離島への移住者を増加させるための交流会、ツアー等の企画・運営
- ・ 中山間地域・離島と都市部の若者がつながるインターンシップ等の企画・運営
- ・ 消費者や企業等、多様な主体による地産地消や食育推進など、地域活動の場としての遊休地の活用に向けた企画・運営
- ・ 耕作放棄地の発生防止策の検討・実証

⑦ 食と農をつなぐかけはし推進活動

備中地域の多彩な食材を活用し、生産者と消費者の相互理解を深めるイベントの開催や、6次産業化や農商工連携による新商品の開発等により、ブランド力の向上を図る取組の企画・運営

【例えば・・・】

- ・ 農作業体験など、消費者と生産者の交流によって農林水産業を身近に感じ、次世代へつなぐ活動の企画・運営
- ・ 地域食材を活用した料理教室の開催やレシピの提案・普及
- ・ 果物や野菜を使ったスイーツの開発、商品化及び販路開拓
- ・ 地域食材を使ったレストランメニューの開発やイベントの開催
- ・ 子どもを対象とした、食育活動やイベントの開催

○対象及び応募資格

岡山県内に事務所又は備中県民局管内に活動場所を有する団体で、次の要件を全て満たす団体とします。また、複数団体をメンバーとし、応募することも可とします。

なお、個人は対象としません。

- 1 備中県民局管内で事業実施できること。
※備中県民局の管内は、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町の7市3町です。
- 2 事業の遂行に必要な組織・人員を有し、備中県民局と協働し、事業を最後まで適正に実施でき、実績報告が提出できること。
- 3 組織の運営に関する規則（規約、会則等）又はこれに準ずるものがあること。
- 4 予算・決算を適正に行っていること。
- 5 原則として、1年以上継続して活動していること。
（任意団体が特定非営利活動法人化した場合は、任意団体活動歴を含む。）
- 6 宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体ではないこと。
- 7 特定の公職者や政党を推薦し、支持し、反対することを目的とした団体ではないこと。
- 8 暴力団又はその構成員の統制下にある団体ではないこと。

○応募できる事業数

1団体あたり2事業まで応募できるものとします。ただし、自由テーマを除き、同一テーマでの2事業の応募は不可とします。

○応募制限

同一事業の採択は4回までとします。それを超えての応募はできません。

○審査・選考及びプレゼンテーション

- 1 審査、選考は、学識経験者、NPO関係者等から構成された「備中県民局協働事業審査委員会」が行います。
- 2 第一次審査（書類選考）で選考された提案について、第二次審査（プレゼンテーション／最終選考）を実施しますが、当日参加いただけない場合は、審査の対象外となります。

○協働事業協定書の締結（事業化の決定）

第二次審査で採択された提案を提出した団体は、事業内容等について備中県民局の担当部所と協議を行い、合意を得た場合に事業化が決定することとし、合意内容を記載した協定書を締結します。

※ 第二次審査で採択された段階では、まだ事業化の決定ではありませんので、ご注意ください。

○事業の流れ（スケジュール）

公募期間	→	第一次審査 （書類選考）	→	第二次審査 （プレゼンテーション）	→	事務説明会 の開催	→	関係部所 との調整	→	協定書の締結 事業開始	→	事業 実施	→	事業評価
H27.12.18～H28.1.29		H28.3中旬		H28.4.14(木)		H28.4下旬								H29.3
		<結果通知>												

○事業の条件

事業は、「募集テーマ」に沿ったもので、次の条件の全てを満たすものとします。

- 1 公益的、社会貢献的事业であり、広く社会的課題の解決が図られること。
- 2 備中県民局と協働することにより、相乗効果が得られる事業であること。
- 3 地域住民のニーズが認められ、実施により地域住民の満足度が高まる事業であること。
- 4 特定の地域を対象とする事業については、先進性、先駆性が認められ、他の地域への波及が期待できるものであること。
- 5 予算見積が適正であり、必要最小限の経費となっていること。
- 6 原則として、平成28年度の単年度事業であること。
（終期：原則として、平成29年2月末）

※ 対象外とするもの

次のいずれかに該当する事業は、対象外とします。

- ① 営利を目的とする事業
- ② 特定の個人や団体のみが利益を受ける事業
- ③ 施設等の建設及び整備を目的とする事業
- ④ 岡山県の他の事業により助成を受けている（受ける計画のある）事業
※その他、県の他の補助事業に応募可能な事業は、採択を見合わせる場合があります。
- ⑤ 国、他の地方公共団体及び他団体からの助成等を受ける計画のある事業で、その助成が受けられなかった場合、事業の執行ができなくなる（事業縮小、資金調達ができない）事業

○備中県民局の経費負担

- 1 事業費のうち備中県民局が負担する経費は、提出された事業計画書や収支予算書により事業毎に判断することとします。（採択されても申請額どおり認められない場合もあります。）
- 2 備中県民局の負担する経費については、次の取扱とします。
 - ① 採択1回目の事業は、補助率10分の10とし、上限を1件につき200万円とします。
 - ② 採択2回目から4回目の事業は、補助率2分の1とし、上限を1件につき100万円とします。
- 3 実施する事業の執行に直接必要とする経費を負担するものとし、事業と関わりのない経費（団体の管理運営費等）は対象外とします。また、備品購入費も対象外とします。
- 4 備中県民局が経費を負担した場合において、事業実施後に余剰金が発生した場合は、返還していただきます。

5 備中県民局協働事業審査委員会の概要

(1) 協働事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）

協働提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言を求める目的で、平成22年度に設置したものの。

(2) 平成28年度審査委員会委員

- ・松畑 熙一（委員長） 中国学園大学・中国短期大学 学長
- ・佐藤 和順 岡山県立大学保健福祉学部 教授
- ・高平 亮 岡山NPOセンター 理事
- ・古賀 桃子 ふくおかNPOセンター 理事長
- ・黒宮 亜希子 吉備国際大学外国語学部 講師
- ・藤原 裕子 倉敷市市民協働推進部参事（兼 市民活動推進課長）

(3) 平成28年度における審査委員会等開催状況

ア 第1回審査委員会

○日時 平成28年4月14日（木）9:00～16:00

○場所 備中県民局会議棟第4～第6会議室

○主な内容

平成28年度協働事業提案募集における第二次審査(団体によるプレゼンテーション)を実施し、応募のあった23事業のうち、第一次審査を通過した12事業について審査した結果、9事業を採択した。

イ 採択事業の進捗状況等について

○日時 平成28年10月～11月

○場所 審査委員会委員勤務先等

○主な内容

- ・平成28年度協働事業提案募集制度における採択事業の進捗状況について

ウ 平成29年度協働事業提案募集制度第一次審査(書類審査)

○日時 平成29年1月

○場所 審査委員会委員勤務先等

○主な内容

平成29年度協働事業提案募集により応募のあった23事業について、第一次審査（書類審査）を各審査委員会委員が実施し、その結果、13事業が第一次審査を通過した。

エ 第2回審査委員会

○日時 平成29年3月13日（月）13:00～16:45

○場所 備中県民局会議棟第1～第3、第5会議室

○主な内容

平成28年度協働事業提案募集制度により採択された9事業について、事業実施団体が結果報告プレゼンテーションを行い、審査委員会委員が講評等を行った。



第1回審査委員会の様子（その1）



第1回審査委員会の様子（その2）



第2回審査委員会の様子（その1）



第2回審査委員会の様子（その2）

6 協働研修等の実施状況

(1) 視察研修

市内全域に住民自治組織を設置するとともに、まちづくりの基本理念や仕組みを定めた「まち・ゆめ基本条例」により協働のあり方を定義し、ヒト・モノ・カネの側面から行政が住民自治組織に関わりながら協働のまちづくりに取り組んでいる広島県三次市を訪問し、行政担当者から話を伺うとともに、有限会社や合同会社を設立して事業を実施するなど、住民が主体的にまちづくりに取り組んでいる青河地区の現地視察を行った。

日 時	平成28年11月25日(金) 8:00~18:00
場 所	広島県三次市
参加者	備中県民局職員、市町職員、自治会役員 27人
視察先	三次市役所、青河コミュニティセンター
内 容	協働のまちづくりの基本理念・仕組み、青河地区の取組（地域まちづくりビジョン、弱者支援、定住事業、地域振興）等
状 況	○研修の様子



(2) 講演・事例発表

鳥取大学地域学部の多田憲一郎教授を講師に迎え、地域の生活を維持していくための住民と行政の協働のあり方について学ぶ研修会を実施した。

研修会では、講師による講演のほか、市町村合併後の環境変化の中、住民自らの手で新しい村の形をつくって地域課題の解決や活性化に取り組んでいる「あば村運営協議会」の取組についての事例発表も行った。

日 時	平成29年2月21日(火) 13:30~16:30
場 所	備中県民局会議棟1階
参加者	県職員、市町職員、自治会役員等 37人
講 師	多田 憲一郎 鳥取大学地域学部地域政策学科教授
内 容	講演：協働で輝くまちづくり 事例発表：あば村の取組について(津山市地域おこし協力隊 谷口 江利香)
状 況	○研修の様子



(3) 備中協働ゼミ 自慢しましょ♪学びあいましょ♪♪知り合いましょ♪♪♪
 (備中県民局・管内市町協働取組事例学習会)

協働の手法を用いた地域の課題解決と課題解決に取り組む団体間の交流を促進するため、備中県民局・管内市町協働取組事例学習会「備中協働ゼミ 自慢しましょ♪学びあいましょ♪♪知り合いましょ♪♪♪」を実施した。

備中協働ゼミでは、県民局または管内市町と協働して地域の課題解決に取り組んでいる6団体による事例発表を行い、それを踏まえた意見交換を行った。

日 時	平成29年3月5日(日) 13:00~15:50
場 所	備中県民局会議棟1階
参加者	協働事業実施団体メンバー、市町職員、自治会役員等 30人
内 容	<p>○各団体による取組内容の発表</p> <p>※助言者：中国学園大学・中国短期大学 松畑熙一 学長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備中田舎カレッジ連絡会議(備中県民局) 「備中地域づくり実践講座の開催」 ・エンジョイスportsの会(倉敷市) 「運動でみんながつながるまちづくり事業(水島版)」 ・西郡地区の絆を推進する会(総社市) 「地域の絆づくり推進事業『絆塾』の創生」 ・梁クラス(高梁市) 「まちづくりの新しい風～梁暮らすプロジェクト始動～」 ・みどりヶ丘イキイキグループ(浅口市) 「イキイキ☆移動ネット研究会」 ・フルーツフェスティバル2016実行委員会(矢掛町) 「フルーツフェスティバル2016」 <p>○意見交換</p>
状 況	○備中協働ゼミの様子



7 平成22年度～平成27年度における協働事業提案募集採択事業の概要

※ 事業概要については、採択時のものであり、その後の調整により変更となっている場合がある。以下同じ。

(1) 平成27年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
ささえ愛・助け合い・分かち合い 笑顔のびっちょうサポート事業	NPO法人大島まちづくり協議会 (笠岡市)	高齢者世帯の孤立を防ぐ体制を構築するため、シンポジウムやいきいきサロンの開催、3世代交流事業等を実施する。
きらめき生活支援協力隊事業	NPO法人NPOきらめき広場 (新見市)	住民が支え合い高齢者が安心して暮らすことのできるよう、出前健康サロンの開催や生活支援、安否確認を実施する。
高齢者パワーを地域で生かし、健康寿命延伸	にいみフォーラム (新見市)	高齢者の健康づくりや地域コミュニティーのきずな強化のため、シンポジウム開催や健康寿命の取組の普及啓発等を行う。
備中矢掛まるごと博物館	備中矢掛宿の街並みをよくする会 (矢掛町)	矢掛町及び備中地域全体を博物館と見立て、矢掛本陣を主会場としたまるごと博物館の開催や各種シンポジウム・サミットを行う。
高梁川トレイルによる風土ツーリズム開発	一般社団法人水辺のユニオン (倉敷市)	高梁川流域のトレイルルート開発やトレイルに関するシンポジウムの開催、オープンデータ活用のトレイルマップづくりを行う。
「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	龍の仕事展実行委員会 (倉敷市)	「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用し、インターンシッププログラムの開発等を行う。
玉島に一人でも多くのお客に来ていただく	NPO法人備中玉島観光ガイド協会 (倉敷市)	観光ガイドブック作成、SNS等による観光情報発信等により、玉島の知名度アップと観光客の増加を図る。
大学留学生との交流をとおしての地域の活性化事業	クラブいのしし (矢掛町)	大学留学生を地区民で受け入れ、留学生との交流を通じた地域活性化を図る。
備中地域づくり実践講座の開催	備中田舎カレッジ連絡会議 (矢掛町)	地域づくりに携わりたい若手を募集し、5回の講座と最終発表プレゼンを行うプログラムを提供する。

(2) 平成26年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
さあ のはらへいこう 里山を歩こう事業	NPO法人 吉備野工房ちみち(総社市)	大人が子どもの自主性を信じた育児方法を知ることが目的に、次の事業を行う。 ・映画上映会 ・講演会 ・里山歩き
地元の食材を使ったお料理広場による子育て応援事業	よりはぐプロジェクト(倉敷市)	地元食材を使ったお料理広場を年間13回程度開催し、それを通じて子育て支援を行う。
備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、定着をはかる	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会(倉敷市)	備中地域に古くから伝わる綿の植樹、写真展、種の販売等を行い、伝統を継承し、観光資源等として生かしていく。
備中・町家クラス(備中地域の歴史的建築物を活用した暮らしの体験事業)	NPO法人 倉敷町家トラスト(倉敷市)	備中に残る町並み等を活用し、町家における暮らし体験など、種々のプログラムを実施する。
備中地域における教育現場での和楽器と邦楽の普及度の実態調査	一般社団法人 倉敷未来機構(倉敷市)	備中地域の教育現場における和楽器に関する調査(和楽器の有無、和楽器を利用した活動の有無等)を行うとともに、和楽器体験モデル授業を行う。
「龍の仕事展」を大学生の人材育成として活用したインターンシッププログラムの開発	龍の仕事展実行委員会(倉敷市)	龍の仕事展を、大学生のインターンシップの場として活用するとともに、学生受け入れに関するプログラムの作成等を行う。
みなと玉島発!産業観光でつながる「玉島バスセンター物語」	玉島商工会議所(倉敷市)	産業観光コースを作成し、それらを巡るバスツアーを実施する。
荒廃茶園の復活再生と“地紅茶”で高粱を元気にする	百姓のわざ伝承グループ(高粱市)	廃園となった茶園を復活させ、都市と農村の交流を行うとともに、地紅茶を発信するイベントを開催する。
自閉症療育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会(岡山市)	自閉症及び発達障害に対する理解を深めること等を目的に、セミナー及び相談会を開催する。
発達障がい連続勉強会&情報交換会	NPO法人 ていむ(倉敷市)	発達障がいの子をもつ家族を主な対象として、発達障がいについて学ぶ勉強会と情報交換会を8回程度行う。
高校生による“備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き”	「聞き書き」実行委員会(総社市)	高校生が先人から話しを聞き、それを文章に書き、フォーラムにおいて発表する。

(3) 平成25年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
こどもの安心・自信・自由を守るためのワークショップと講演	エンパワーメントMOMO	子どもがあらゆる暴力から自分を守るためのCAP(子どもへの暴力防止プログラム)ワークショップを実施する。また、有識者による講演会の企画及び開催を行う。
備中地域町並み保全と活性化事業	備中地域町並み保全・活性化会議	平成25年9月に開催される「全国町並みゼミ倉敷大会」を踏まえ、その検証や実践としてバスツアーやワークショップを行い、備中地域の更なるネットワーク化や地域資源の発掘等を行う。
キビと薄荷による耕作放棄地の再利用化と低炭素化	元倉敷未来計画	備中特産として脚光を浴びてきたキビと薄荷の作付け拡大と普及の為の活動(植え付け、収穫、販売支援など)を行う。
備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、定着をはかる	NPO法人 備中玉島観光が仆協会	耕作放棄地や観光コースに備中綿を植え、インターネットなどを通じ広報をすることで観光客を誘致する。また、出前講座・発表会などの開催により、綿文化の復元、伝承を行う。
都市住民との体験交流事業	矢掛町下高末棚田保全組合	都市住民と、田植え祭り、稲刈り、野菜収穫、お飾りづくり、餅つき等を通じて、体験交流を行う。
おかやま備中暮らし支援プロジェクト	子ども未来・愛ネットワーク	岡山へ保養・避難・移住を目指す人に対し、岡山県内の生活情報等を取りまとめた冊子等の制作及び情報発信、東北等における相談会における情報提供、交流体験プログラムの実施等を行う。
児島ジーンズ伝承 ～ものづくりの歴史と技術	児島ジーンズストリート推進協議会	ジーンズづくりの歴史と技術に関わる資料・情報を集め、整理・保管・展示する「児島ジーンズアーカイブ」を作成し、それを利用した「ジーンズ塾」の企画・開催を行う。
備中高梁フィールドミュージアム事業 備中高梁の自然・歴史・文化を活用した体験型環境学習	NPO法人 フォレストフォーピープル岡山	備中高梁の自然・歴史・文化を活用し、幼・保育園児、小中学生等を対象とした各種プログラムを実施するとともに、他地域におけるフィールドミュージアム事業の取組等を紹介するシンポジウムの開催を行う。
荒廃茶園の復活と地紅茶のまち“高梁”の発信	百姓のわざ伝承グループ	荒廃茶園復活応援団を募集し、活動するとともに、地紅茶のまち‘高梁’発信イベント～紅茶ウィーク～を開催する。
自閉症療育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会	新見市内において、専門家を講師に招いたセミナーの実施及び専門家による個別の治療教育相談会の開催を行う。
高校生による備中で暮らすまの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	高校生が、地域で暮らす先人(匠)と出会い、その話を「聞き」、そのまま「書き」おこし、文章にまとめる。また、研修会・発表会の実施、成果物である冊子作成等を行う。

(4) 平成24年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
育ちをサポート！お出かけ育メン育女応援団	NPO法人 保育サポート「あい・あい」	「地域の子育て支援の場」と「団塊の世代や学生等の活躍の場」をつなぐため、ニーズの把握や事前研修、スケジュール調整等を行うプロジェクトの開始及び運営
備中の伝統である綿で玉島の町を白く埋め尽くす事業(チャレンジ2)	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会	昔から玉島地区で栽培されていた「綿」の栽培等を通じ、環境客の誘致や障害者施設への作業提供、インターネットでの発信を通じて地域の活性化を図る。 ・綿の苗(6,000本)、綿の種のセット(約10粒入り、4,000セット)の配布 ・玉島地区の小学校に対する綿の栽培の出前講座の実施 ・身体障害者施設に対し綿関連の作業を発注することでの就労支援
「高粱地紅茶まつり」の開催と備中宇治茶の生産振興	百姓のわざ伝承グループ	備中宇治茶を使用した「高粱紅茶」のアピールと産地活性化を目的とした「高粱地紅茶まつり」の開催 ・日時 平成24年11月23日(金)～24日(土) ・場所 高粱市文化交流館 等 ・内容 シンポジウム、地紅茶カフェ、地紅茶列車の運行 等
備中地域町並み保全と活性化事業	備中地域町並み保全・活性化会議	備中地域の北部(新見)、中部(高粱)、南部(倉敷、総社、笠岡等)の伝統的景観を保つ町並みや集落を探索し、その地区で活動する団体と交流することで、町並みの保存と活性化を図る。
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	備中地域を中心に栽培が盛んだった「キビ」「ハッカ」の復活、活用による地域活性化を目的に各商品の生産プロセスと商品化の確立を図る。 ・耕作拡大運動と原料の供給の確保 ・キビ枕等、関連商品の開発及び農業体験の紹介等による内外への発信
地域に新たな仕事とつながりを生み出す「着地型観光プログラム×地域インターンシップ」	NPO法人 吉備野工房ちみち	今まで実施してきた着地型観光プログラム「みちくさ小道」を活用して、大学生が主体となって着地型観光プログラムを企画開発することにより、地域を担う若者の人材育成と地域資源を活用した起業支援、新事業開発支援を目的とする。

事業名	団体名	事業概要
草間台地の優れた自然環境や多様な生物をテーマとした環境学習・エコツアー	草間台エコミュージアム推進協議会	草間台地の自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を生かし、他地域との交流、連携の促進や情報発信による地域活性化を図る。 ・貴重な生物(ウスイロヒョウモンモドキ等)の勉強会、観察会等の実施
GREENDAY2012 ～企業と世代をつなぐ持続的環境教育～	GREENDAY2012実行委員会	環境保全をテーマとして、高梁川全流域で大人から子どもまでの幅広い年代を対象にした講座を開催し、人材の育成と環境に関する地域課題の解決を目的とした事業を展開する。 < 予定している講座例 > ・ワシ・タカ観察会(高梁市:6歳以上対象) ・神郷の森「森林間伐作業体験」(新見市:18歳以上対象)等
草間台地の特産品・ソバの栽培による耕作放棄地の解消とキノコ原木栽培による眠っている山林資源の活用	草間台エコミュージアム推進協議会	草間台地の自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を生かし、他地域との交流、連携の促進や情報発信による地域活性化を図る。 ・ソバの種まきから収穫までを都市住民とともに実施する。 ・キノコ栽培について、原木伐採から植菌までを都市住民とともに実施する。 ・採れたソバとキノコについて料理等を実施し、食文化を楽しむ。
自閉症教育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会	県西部や北部での開催が少ない自閉症療育関係のセミナーについて、備中局管内で実施し、自閉症に対する理解や支援の気運が醸成され、かつ個別の相談会により日常的に抱えている困難や不安の軽減を図る。
地域ハートフル大作戦 ～ひきこもり回復支援事業～	NPO法人 エブリイハート	ひきこもりに関する啓発・広報活動を展開することで、当事者や家族を掘り起こし、地域住民の理解と支援を要請する。 < 具体的内容 > ・ひきこもりを題材とした映画の上映等による啓発活動 ・ひきこもり支援者の専門的研修の実施 ・ひきこもり家庭訪問及び出張相談 等
高校生による備中で暮らすまの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	地域の文化、伝統を継承していくことと、若い世代の地域への意識高揚のため、高校生が地域で活動している「お年寄り(先人・匠)」から知恵や技術、考え方を「聞き書き」し、文章として残す事業

(5) 平成23年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
<p>気づく つなぐ 地域で支える 心の健康 ～うつ病 私たちが出来ること～</p>	<p>にいみフォーラム</p>	<p>うつ病を克服された著名人を招いての基調講演と医師や専門家によるパネルディスカッションを中心としたフォーラムの開催</p>
<p>被害者の声を聴いてください ～シンポジウムとコンサート～</p>	<p>(社)被害者サポートセンターおかやま</p>	<p>性被害者と支援員によるシンポジウムと自らが被害者であるバンド「PANSAKU」によるライブ等の開催</p>
<p>新見御殿町歴史探訪 ”土下座まつり拝観”と”まち歩き”そして”歴史講談”</p>	<p>関重爾史会</p>	<p>新見の「土下座まつり」の拝観とまつりの舞台となる新見御殿町の「まち歩き」に加え、新見藩やまつりの由来、丸川松隠にまつわる「講談」をプログラムとするイベントの開催</p>
<p>「備中玉島を綿で白くする」事業</p>	<p>NPO法人 備中玉島観光ガイド協会</p>	<p>昔から玉島地区で栽培されていた「綿」を復活させ、観光客の誘致と地域の活性化を図る ・綿の「種」と「苗」の配布 ・玉島地区の小学校(11校)への栽培指導や出前講座の開催 ・備中綿鑑賞会や収穫祭、写真展の開催 等</p>
<p>低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト</p>	<p>元倉敷未来計画</p>	<p>備中地域を中心に栽培が盛んだった「キビ」と「ハッカ」の栽培を行い、市街地内耕作放棄地の解消と商品化による地域活性化を図る ・耕作拡大への活動 ・キビの枕、ハッカのカクテル等を中心にした商品化 等</p>
<p>GREENDAY2011 ～2011国際森林年と高梁川の持続的な環境保全活動宣言～</p>	<p>GREENDAY2011実行委員会</p>	<p>2003年から開催されてきた「GREENDAY」の活動を総括し、いままで活動を実施していない哲西町をメイン会場として、国際森林年の活動理念と連携をとったイベント等の開催 ・メイン会場:きらめき広場(新見市哲西町)でのイベント開催 ・倉敷、総社、高梁、笠岡を会場とした環境関連産業及び市民活動の人材育成を目的とした連続セミナー「GREENDAY COLLEGE」の開催</p>

事業名	団体名	事業概要
みんなでつくる！高梁川流域のエコ指標	(財)水島地域環境再生財団	地域の自然環境の状況把握と環境意識の醸成を目的とした「エコ指標」の作成と、作成した指標を活用したシンポジウムの開催
出張型集団一時預かりサポートネットワーク形成事業	NPO法人 ふれあいサポートちやていず	イベント、講演会、講座等の会場での一時預かり事業のネットワークを形成するため、備中地域各市町において乳幼児の一時預かりのサポートのできる人材を育成する ・一時預かりサポーター養成講座の開催 ・出張一時預かりポータルサイトの立ち上げ 等
虐待防止のための連続ワークショップ事業 「わたしだってほめられたい～自分を好きになるワークショップ～」 「スターペアレンティグ ～親と子どものよい関係を築くために～」	NPO法人 子ども劇場笠岡センター	子育てを楽しむ親を増やす機会として、県民局管内5箇所連続ワークショップを開催する ・わたしだってほめられたい～自分を好きになるワークショップへの開催 ・スターペアレンティグ～親と子どものよい関係を築くためにへの開催
高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	地域の文化、伝統や技を守り継承していくことと、若い世代の地域への意識高揚のため、高校生が、地域で活動している「お年寄り(先人・匠)」から、知恵や技術、考え方を「聞き書き」し文章として残す事業
CAP(子どもへの暴力防止プログラム)の実施	エンパワメントMOMO	子どもたちをあらゆる暴力から守るために、アメリカで開発されたCAP(子どもへの暴力防止プログラム)を、ワークショップ、研修会形式で開催する

(6) 平成22年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
新米ママ・パパのための子育て安心講座	たんぼぼの里	<p>子育て中のママ、パパを対象に、子育てに関する様々な知識や情報を取得するための講座を開催 (講座内容例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの身体の発達と病気 ・子どもの栄養と食事 ・子どもの遊び <p style="text-align: right;">等</p>
スクラップブックフェア2010	岡山スクラップブッククラブ	<p>スクラップブックフェア2010の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示、体験コーナーの設置 ・ワークショップの開催 ・スクラップブック用品の販売 <p style="text-align: right;">等</p>
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	<ul style="list-style-type: none"> ・農家、不動産、まちづくり専門家によるPTの立ち上げ ・IT技術による耕作放棄地のDB化、耕作等の情報提供、新規営農者の居住推進 ・生ゴミを堆肥化する設備の活用によるCO2低減に寄与
”じぶんチェンジ”ツアーin備中	NPO法人 リスタート	<ul style="list-style-type: none"> ・7月……具体的なプログラム作成、募集の開始 ・8～12月…県内5カ所(倉敷、笠岡、総社、高梁、浅口を想定)で少人数の移動型研修会を実施 ・1～2月…アンケート分析、事業報告書作成
子育てママが参加する公園遊びをつくるダンボールファクトリープログラム	遊び場を考える会	<p>講座及びワークショップの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座「幼児期の外遊びと冒険遊び場」の開催 ・ワークショップ「どんな遊び場？」でプランづくり ・「ダンボールファクトリー」で屋外遊び場を作る